

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

2022/5/1

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

現職教員の資質の向上や一層の熟達化に資することを目的として、本学教員が講師となり、2007（平成 19）年度から「免許法認定講習」、2012（平成 24）年度から「免許状更新講習」（選択領域）を開設し、最新の教育事情や直面している教育課題を取り上げた講習を行っている。

授業評価アンケートを実施し、結果を教科担当教員へフィードバックしている。教科担当教員は、アンケート結果をもとに、授業改善案をFD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会に提出して、授業改善に取り組み、教育の質の向上に努めている。なお、そのうち各科目の教育目標到達度については、科目ごと、目標ごとに集計し、HPで公開している。また、授業改善のためのFD研修会に学生が参画して意見を述べる機会を設け、授業改善に生かしている。

専門的知識外部試験を実施し、学生の（保育・幼児教育に係る）専門的知識の定着に努めている。試験問題は「保育士試験」（国家資格である保育士取得のための試験）の問題に準拠しており、卒業を控えた保育科2年生全員を対象に実施している。満点の60%以上を合格とし、合格できなかった学生には再試験や学習指導により、知識の定着を図っている。

専門的実践力外部試験を実施し、2年間の学びを通じて身に着けた「専門的実践力」が実際の保育・幼児教育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における細やかな「気づき」として表出しているかどうかを、学外者（2年次の幼稚園実習園の保育者）から評価を受けることによって確認している。具体的には、2年次の幼稚園実習における保育実践全般に関して、①保育における気づきの早さ、的確さ、②気づいたことによる行動力、③気づいたことに対する意識の持続性、の3つの視点で、各視点10点満点（A：10点、B：7点、C：5点の3段階評価）で、実習園の保育者に評価してもらい、その結果を卒業後の実践に生かせるよう学生にフィードバックしている。

小学校教員免許取得希望者には、「小学校教諭免許実力試験」及び「小学校教諭免許実力講座」を実施して、小学校主要教科についての知識を保証するよう努めている。「小学校教諭免許実力試験」（主要教科の筆記試験）において、所定の時期までに各教科の合格点に達するか、または「小学校教諭免許実力講座」修了することが学外実習を行うための条件となっている。

同一法人が開設する山梨学院幼稚園や山梨学院小学校と連携した質の高い実践授業を実施している。専攻科保育専攻において、週1日、1年間の教育現場での研修をとおして、これまでの福祉・教育に関わる知識・理解をより発展させていくとともに、福祉・教育の現場における運営管理のあり方や専門職の役割を学習することを目的とする「現場研修Ⅰ」、学年全体や複数学年といった大集団の子どもたちを相手にした授業実践を行うことによって、授業での課題や効果を探求し、授業研究の能力を向上させることを目的とする「実践研究」を通じて、高度な実践的指導力を身に付けている。

山梨学院短期大学